

【今月の目次】

- 1.生成 AI 研修会について
2. Figjam 研修会について
3. ICT 活用ワンポイント講座（ショートカットキー）
- 4.コラム「Classroom や Teams の活用と見直し」



1.生成 A I 研修会について

6 月 20 日（木）に市川三郷町生涯学習センター（if センター）にて、峡南学校事務職員研究会の 23 名の方を対象とした研修会を実施いたしました。この研修会は、前回の ypecICT 通信をお読みいただき、生成 AI とはどんなものか知りたいということでご依頼いただきました。当日は、生成 AI とはどんなものなのか、また、生成 AI を活用する上で注意すべきポイントなどの講義パートと、実際に Microsoft Copilot を使って文書や旅行計画を作ってみるといった演習のパートで行いました。90 分という時間でしたが、参加された皆さまは熱心に取り組んでいただきました。「本当に使ってみたくなりました」、「早速、明日仕事で使ってみたいと思います」などの感想をいただきました。



2. FigJam 研修会について

県内の多くの学校で、様々なデジタルホワイトボードアプリを活用した授業実践がみられます。情報活用能力や各教科等の資質・能力の育成に向け、授業実践と研究が進められてきたのだと感じます。そのような中、2023 年 9 月に Google Jamboard の段階的終了が発表されました。2024 年 10 月 1 日からは閲覧専用となり、12 月 31 日をもってサービスが終了となります。また、FigJam by Figma、Lucidspark by Lucid Software、Miro などのアプリに Jam データをエクスポートまたは移行ができることも示されました。

山梨県総合教育センターでは、所員が様々なデジタルホワイトボードアプリを体験できるように環境を整えました。また 5 月 27 日には、基礎・基本となる知識・技能を身につけることを目的に、所員対象の研修会を実施し、第 1 回目として、「FigJam」の基本操作方法を学びました。

デジタルホワイトボードアプリには多くの良さや強みがあります。それらを生かし、授業や研究会、校務等での活用が考えられます。山梨県総合教育センターでも業務で使用したり今後の研修会で活用したりしていきたいと考えています。



3. ICT 活用ワンポイント講座（ショートカットキー）

今回は Windows のショートカットキーをいくつか紹介します。どれも機能の頭文字で使える、「Windows キー」と組み合わせたショートカットです。ぜひ毎日使って覚えて下さい！

「Windows キー」 + 「L」 …画面ロック ※セキュリティ対策で身につけましょう

「Windows キー」 + 「D」 …デスクトップの表示（すべてのウィンドウの最小化）

「Windows キー」 + 「E」 …エクスプローラーの表示

「Windows キー」 + 「Shift キー」 + 「S」 …スクリーンショット（Snipping ツールの起動）



4. コラム「Classroom や Teams の活用と見直し」

各学校では、授業や校務に Google Classroom や Microsoft Teams を活用した取組が行われていると思われます。これらは、教員間や教員と生徒の間のコミュニケーションツールとしても有効です。活用が始まって4年ないし5年経過していることから、その効果を生かすためには、運用や設定について見直しを図ることが必要です。

これらのツールのメリットの一つとして、過去のやりとりが残ることが挙げられます。掲示板的な使い方であったとしても、過去の投稿を遡って確認することもできます。加えて、Classroom では Google カレンダーやスプレッドシート、Teams では OneNote や Forms など、他のツールと連携した利用も可能です。

Classroom、Teams はそれぞれ特徴があり、各学校の運用状況を見極め、今後の活用について検討することが、見直しの第一歩だと思います。重要なことは「これまでやってきたから継続する」のではなく、「便利に使うには」という視点で再構築することだと思います。状況によっては、新しいものを作り直して再スタートをすることも考えられます。これらのツールを活用した実践事例がインターネットや書籍に多数掲載されていますので、参考にしてみてください。前回紹介した生成 AI の活用も一助になると思います。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「DX【ディーエックス】」

「Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）」の略称で、経済産業省の「DX 推進ガイドライン（2018年12月）」によると、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義されています。

各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>
